

特集

肝門部領域胆管癌の すべて

術前管理から術後長期管理まで

胆道領域の代表的疾患である胆管癌，特に肝門部領域胆管癌は，大きな学会ではシンポジウムやパネルディスカッションのテーマとしてほぼ毎回取り上げられる．これは肝門部胆管癌に対する外科的治療が多くの側面をもち，語るべき点が尽きないことによる．手術死亡率は5～10%であり肝移植よりも高い．すなわち手術手技はもちろんのこと，周術期管理にも多くの解決すべき課題があり，外科医の関心が高い領域なのだと思う．

本特集はこの肝門部領域胆管癌にテーマを絞って企画した．一見狭い領域のように見えるが，肝門部胆管癌治療のノウハウはすべての胆膵癌診療につながるものであり，読者にとって有益な一冊となれば幸いである．